

2019 年 10 月 8 日

**アイヴァンホーの Mark Farren をカモア-カクラ銅プロジェクトの合併事業の最高責任者に任命**

**アイヴァンホーと Zijin は、カモア-カクラでの商業生産開始に向けて独立経営チームを結成**

**アイヴァンホーの DRC 国マネージャーである Louis Watum が Kamoia Copper SA の取締役会社長に任命され、役割を拡大**

**カクラ銅山の商業生産を成功裏に開始するために、Zijin の最高執行責任者および 3 名のコンゴ人によってカモア-カクラの経営チームを強化**

**採掘のベテランである Warwick Morley-Jepson を、アイヴァンホーの新しい最高執行責任者に任命**

**個人株式購入および CITIC Metal Africa と Robert Friedland との売却取引により、Zijin がアイヴァンホー・マインズの株式保有率を 13.88%に増加**

コンゴ民主共和国、コルウェジ - アイヴァンホー・マインズ (TSX: IVN; OTCQX: IVPAF) の共同会長である Robert Friedland と Yufeng “Miles” Sun は本日、アイヴァンホーの前事業担当上級副社長の Mark Farren を、カモア-カクラ銅採掘合併事業の最高責任者に任命したことを発表しました。

同時に、アイヴァンホーの開発と運営能力のさらなる改善を図るために、アイヴァンホーの DRC 国マネージャーである Louis Watum を Kamoia Copper SA (アイヴァンホー・マインズ、Zijin Mining Group、Crystal River およびコンゴ民主共和国によるカモア-カクラプロジェクト開発合併事業を運営する DRC の会社) を取締役会社長に任命しました。Watum 氏は任務を拡大し、インフラ開発の支援も担当します。採掘のベテランである、南アフリカ出身の Warwick Morley-Jepson がアイヴァンホーの新しい最高執行責任者に任命され、Farren 氏の任務を引き継ぎます。

Friedland 氏は、「Louis、Mark、Warwick の 3 人はこの地域の地下鉱山の開発、建設、運営において豊富な経験を持っています。彼らは合併事業チームをまとめて、採掘量年間 600 万トンのカクラ鉱山ステージ 1

の建設および運営を主導します。また、それと同時にキプシとプラットリーフプロジェクトの開発事業、および当社がライセンスを100%所有する Western Foreland での探査ボーリングを急速に進めてくれると期待しています」と話します。

Farren 氏に加え、カモア-カクラの新しい経営チームには、Zijin Mining の Yong Chen 博士が最高執行責任者として加わります。Chen 博士は採掘事業において25年以上の経営経験があり、直近では Xinjiang Ashele Copper 社で取締役兼ジェネラルマネージャーとして、大規模な地下鉱山の採掘と Zijin Mining が大部分を所有する処理複合施設の経営に携わりました。

「経営チームは、Watum 氏、コンゴの責任者、関係政府機関、現地の地域社会と密接に連携し、最高の国際水準に沿って、カクラ鉱山を予算内でスケジュール通り開発します」と Friedland 氏は続けます。

「チームは、合併事業関係者と強固な協力関係を築くことができます。この経営チームの一人ひとりが、専門知識およびリーダーとしての資質を活かして、カクラ鉱山の運営開始を成功させてくれるものと信じています」

「アイヴァンホー・マインズの成長においてこれは重要な節目になります。この素晴らしい時期に、中核となるカモア-カクラプロジェクト開発をリードすることができとても光栄です」と Farrens 氏は語ります「私たちは、カクラを世界最大の銅鉱山にすることができる特別な立場にあります。チームに参加し、プロジェクトを生産に進めることができ非常に嬉しく思います」

カモア-カクラ銅採掘の経営チームには、コンゴ人の Ben Munanga(エネルギー担当)、Teddy Kabongo (税務担当)、Guy Muswil 博士(サステナビリティ担当)も加わります。また、アイヴァンホー・マインズの Rochelle De Villiers および Zijin Mining の David Li もカモア-カクラの共同財務責任者に任命されました。

カモア-カクラ銅採掘プロジェクトは、アイヴァンホー・マインズ(39.6%)、Zijin Mining Group(39.6%)、Crystal River Global Limited(0.8%)および DRC 政府(20%)の合併事業です。アイヴァンホー・マインズと Zijin Mining は、このプロジェクトの共同出資開発会社です。現在、カクラ鉱山(カモア-カクラでは少なくとも3か所が計画されていますが、その最初となる鉱山です)の最初の銅精鉱生産は、2021年第3四半期に予定されています。

## アイヴァンホーの最高執行責任者に Warwick Morley-Jepson を任命

当社は Warwick Morley-Jepson を新しい上級副社長兼最高執行責任者に任命しました。Morley-Jepson 氏は採掘事業において豊富な経験を持っており、以前 Farren 氏が担当していた職務を引き継ぎます。彼は、現在アイヴァンホーが取り組んでいる、キプシおよびプラットリーフプロジェクトの技術/開発業務を監督します。また、アイヴァンホーのチームの主要メンバーとして Zijin Mining と協力し、カモア-カクラプロジェクトの開発も監督します。

## 個人株式購入および CITIC Metal Africa と Robert Friedland との売却取引により、Zijin がアイヴァンホー・マイنزの株式保有率を 13.88% に増加

カモア-カクラの新しい経営チームの結成(これは、カモア-カクラの開発における Zijin Mining の重要な立場、およびアイヴァンホー・マイنزの筆頭株主との真の戦略的協力関係を反映するものです)を受け、CITIC Metal Africa と Robert Friedland は、個人株式購入および売却取引で、それぞれが所有する 35,752,011 株(3.0%)および 12,900,271 株(1.08%)を Zijin に売却することに合意しました。

取引が完了すると、CITIC Metal Africa はアイヴァンホーの発行済み株式の約 26.4%、Robert Friedland は約 13.2%、Zijin は 13.88%を所有します。1 株当たりの株価は、取引完了の前日に、その時点での実勢出来高加重平均株価で固定されますが、下限価格 3.98 カナダドル(最近の CITIC Metal によるアイヴァンホー・マイنزへの 2 回目の戦略的投資の価格)が設けられます。

「この株式購入と売却契約の再均衡により、アイヴァンホー・マイنز、CITIC Metal、Zijin Mining との間に築かれた高い信頼関係と強固な戦略的協力が改めて示されました」と Friedland 氏は言います。

取引の完了は、以前の取引と同様に、Zijin が必要な記録を受け取り、中国政府規制当局への登録が済んだ後で完了します。これらは通常 2 カ月以内に受領され、2019 年末前後に振り替えが完了します。

取引が完了すると、Zijin とアイヴァンホー・マイنزは投資家権利契約を締結します。この契約に基づいて、Zijin から 1 人取締役が選任されます(現在は、今年初めに開催されたアイヴァンホーの AGM で Chen Jinghe 会長が取締役に選出されています) Zijin の現行の現状維持契約も修正され、アイヴァンホー取締役会の承認を受けることなく、Zijin のアイヴァンホー・マイنز株式最大保有率が 9.9%から 13.88%に引き上げられます。また、Zijin Mining は、現在 CITIC Metal と Robert Friedland の間に結ばれている互恵売却禁止協定も締結します。将来、特定の株式売却案があった場合は、この協定に基づいて、各当事者は相互処分とタグアロング権を付与します。

CITIC Metal と Friedland 氏の現行の現状維持契約は、取引の再均衡による影響を受けません。2023 年 1 月 8 日まで、それぞれが取得できるアイヴァンホー・マイنزの持ち株比率は、29.9%および 19.9%以下に制限されます。

## Mark Farren の紹介

Mark Farren は、世界の主要採掘地で鉱山の開発と管理に 31 年以上携わってきました。Farren 氏は 2014 年 6 月にアイヴァンホー・マイنزに入社し、事業担当上級副社長として、さまざまなエンジニアリングおよび開発業務を担当しています。以前は、ヨハネスブルグに拠点を置く Anglo American Platinum (Amplats) の南アフリカ事業部門に 22 年間勤め、上級管理職として重要な役割を担ってきました

Amplats で経歴を積んだ Farren 氏は、2009 年にグループの鉱山部門責任者に任命されました。また、アフリカでの主要なグリーンフィールド事業の開発で成功を修めてきました。



## Louis Watum の紹介

Louis Watum は、DRC 事業担当代表取締役として、2014 年にアイヴァンホー・マイنزに入社しました。2015 年 3 月には、Kamoa Copper SA のジェネラルマネージャーも兼任しました。彼は、DRC で現在進められているカモア銅鉱脈探査やキプシ亜鉛・銅・銀鉱山開発など、アイヴァンホー・マイنزの鉱山開発事業を担当しています。

アイヴァンホー・マイنزに入社する以前は、2006 年から 2009 年に Moto 金鉱山の Moto プロジェクトの立ち上げに従事した後、2010 年から 2014 年は、Randgold の Kibali プロジェクト (Randgold の Kibali 所有権は後に Barrick Gold に売却されました) の開発と試運転を主導して成功に導きました。2001 年から 2005 年にかけては、マリの Yatela 金鉱山で運営マネージャーを務めていました。



## Yong Chen の紹介

Yong Chen 博士は鉱業で 25 年以上の経験があります。直近では、Chen 博士は、Xinjiang Ashele Copper Ltd.の取締役兼ジェネラルマネージャーを務め、大規模な地下鉱山の採掘と Zijin Mining グループが大部分を所有する処理複合施設の経営に携わりました。2012 年に Zijin に入社する以前、Chen 博士は、China Western Mining Co., Ltd.で 16 年以上管理職を歴任してきました。

上級エンジニアである Chen 博士は、中国地質大学で資源管理学の博士号を取得しています。



## Warwick Morley-Jepson の紹介

Warwick Morley-Jepsonは採掘において豊富な経験を持つ専門家であり、採掘業界での37年のキャリアを通して、数々の責務を担ってきました。地下および露天掘りの金/プラチナ採掘事業において最高執行役および管理職を歴任し、上級管理職レベルで複数の鉱山開発プロジェクトに着手してきました。最終的にKinross Gold Corporationなど複数の世界大手採掘企業で管理職を歴任しています。

Morley-Jepson氏は過去20年間、西/北アフリカ(マリ、ガーナ、モーリタニア、コートジボワール)、東アフリカ(タンザニア)、ロシア、カザフスタン、ブラジル、米国、チリでの業務に主に取り組んできました。



## カモア-カクラプロジェクトについて

カモア-カクラプロジェクトはDRCのコルウェジの鉱山中心から西に約25キロメートルのところにあります。この合併事業は、アイヴァンホー・マイنز(39.6%)、Zijin Mining Group(39.6%)、Crystal River Global Limited(0.8%)およびDRC政府(20%)による合併事業です。アイヴァンホー・マイنزとZijin Miningは、カモア-カクラ銅プロジェクトの共同出資開発会社です。

既存の鉱物資源をベースにしたカモア-カクラは、単独で世界第4位の規模の銅鉱床として認められています。カモア-カクラの銅の純度は、世界の上位10の銅鉱床で最高レベルであり、他を大きく引き離しています。

カモア-カクラは、厚い鉱床、浅い鉱床、および比較的平坦な鉱床の超上銅等級を組み合わせることで独特であり、大規模、高い生産性、機械化された地下採掘作業が可能です。計画中の複数の鉱山のうち、カモア-カクラで生産が予定されている最初のカクラは、最初の5年間で平均6.8%の銅等級、最初の10年間で平均6.4%銅等級が予想されています。これは、世界の他の主要な銅鉱山の大多数の銅等級をはるかに上回ります。

## 有資格者

このニュースリリースの科学的および技術的情報は、アイヴァンホー・マインズのProject Geology and Evaluation担当副社長のStephen Torr, P.Geo (National Instrument 43-101の条件に基づく適格者)によってレビューされ承認されています。Torr氏は、アイヴァンホー・マインズから独立してはいません。このリリースで開示された技術データは、Torr氏によって検証されました。

## アイヴァンホー・マインズについて

アイヴァンホー・マインズは、南アフリカで3つの主要プロジェクトの推進に重点的に取り組んでいるカナダの鉱山会社で、主要プロジェクトは、コンゴ民主共和国(DRC)のカモア-カクラ銅発見場所における新鉱山の開発、南アフリカでのプラットリーフパラジウム-白金-ニッケル-銅-金の発見場所、および同じくDRCにある歴史的なキプシ亜鉛-銅-ゲルマニウム-銀の鉱山の大規模な再開発とアップグレードです。また、アイヴァンホーはカモア-カクラプロジェクト近くで、同社が完全所有するWestern Foreland探査ライセンスに基づいてDRCで新たな銅鉱脈を探査しています。

## 情報の問合せ先

### 投資会社

Bill Trenaman +1.604.331.9834

### Media

Kimberly Lim +1.778.996.8510

## 将来の見通しに関する注意事項

本ニュースリリースの特定の記述は、適用される証券法の意味の範囲内で「将来の見通しに関する記述」または「将来の見通しに関する情報」で構成されています。これらの記述および情報には、会社、そのプロジェクト、または業界の結果が、将来の結果、業績、または実績と、そのような将来の見通しに関する記述または情報によって明示または暗黙的に記載されたものと大きく異なる原因となる既知および未知のリスク、不確実性およびその他の要因が含まれます。そのような記述は、「場合がある」、「可能性がある」、「なりうる」、「意図する」、「期待する」、「信じる」、「計画する」、「推定する」、「スケジュールである」、「予測する」およびその他の類似の用語、または特定のアクション、出来事、または結果が講じられる、生じる、またはもたらされる「場合がある」、「可能性がある」、「かもしれない」、または「なるでしょう」という表現、用語の使用によって識別することができます。

このリリースの将来の見通しに関する記述には、経営チームがWatum氏、コンゴの責任者、関係政府機関、現地の地域社会と密接に連携し、最高の国際水準に沿って、カクラ鉱山を予算内でスケジュール通り開発することに関する記述、(2) 現在、カクラ鉱山(カモア-カクラでは、少なくとも3か所が予定されていますがその最初となる鉱山です)の最初の銅精鉱生産は、2021年第3四半期に予定されていることに関する記述、(3) カクラは、計画中の複数の鉱山のうち、カモア-カクラで生産が予定されている最初の鉱山であること、および(4)カクラは、最初の5年間で平均6.8%の銅等級、最初の10年間で平均6.4%銅等級が予想されていることに関する記述が含まれますが、これに限定されません。

将来の見通しに関する記述および将来情報には重大なリスクと不確実性が伴うため、将来の実績または成果の保証として読まれるべきではなく、必ずしもかかる成果が達成されるかどうかに関する正確な指標になるとは限りません。実際の結果は、さまざまな要因によって、将来の見通しに関する記述または情報に記載されている結果と大きく異なる可能性があります。これらには、「リスク要因」およびその他の会社のMD&Aのどこかで説明されている要因、また、タイムリーに規制当局の承認を得ることができないこと、未知または予期せぬ出来事が契約上の条件を満たさない原因となる可能性、法律、規則または規制の予期せぬ変更、あるいは該当する当局によるそれらの執行、合意されたとおりに行動するために当事者が会社と契約するこ

との失敗、社会的または労働的不安、商品価格の変動そして、探査プログラムや調査が予想された結果または継続的な探査、調査、開発または操業を正当化し支援するであろう結果を提供することの失敗、などが含まれますがこれらに限定されません。

本ニュースリリースに含まれる将来予想に関する記述は、当社の経営陣が合理的な仮定であると考えるものに基づいていますが、実際の結果がこれら将来予想に関する記述と一致することを投資家に保証することはできません。これらの将来の見通しに関する記述は、このニュースリリースの日付時点で作成されたものであり、この注意書きによってその全体が明示的に限定されています。適用される証券法に従い、当社は、このニュースリリースの日付以降に発生した出来事や状況を反映するために、ここに含まれる将来予想に関する記述を更新または修正する義務を一切負いません。

2018年12月31日に終了した事業年度およびその年次情報フォームの「リスク要因」の項および当社のMD&Aの他の箇所に記載されている要因の結果として、当社の実際の結果がこれらの将来予測に関する記述で予想されるものと大きく異なる可能性があります。